

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスキッズサポートみずほ		
○保護者評価実施期間	2025年4月20日 ～ 2025年5月10日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29 (回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2025年4月20日 ～ 2025年5月10日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8 (回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2025年5月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多くの子どもたちが毎日楽しく通っていること、毎日の活動を楽しみに期待していることは、事業所の魅力と活気の証です。	・幅広いテーマでレクリエーションを企画・実施し、子どもたちの多様な興味関心に応える工夫をしています。	・適切な人員配置について検討し、より質の高い支援体制を構築する。
2	・SDGs、運動、調理、地域交流など、多様なレクリエーションを提供し、子どもたちが満足していることは、成長の機会を提供している強みです。	・楽しい雰囲気づくりや、子どもたちが主体的に参加できるようなレクリエーションを通して、満足度を高めることを意識しています。	・地域交流や活動の機会を増やしていくことに努めます。 ・送迎で使用する車両での安全装置ブザーの設置、送迎車両の安全対策などを早急 to 実施し、子どもたちの安全を確保する。
3	・定期的に保護者から嬉しい声が届いていることは、保護者の信頼を得ており、事業の質の高さを裏付けるものです。	・定期的な情報共有や意見交換を通じて、保護者との信頼関係を築き、連携を密にしています。	・食品衛生管理責任者をはじめ、必要資格を持つ人材の配置の相談を社長に行い、より専門性の高いサービス提供を目指す。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・法定の定員(10名)を超過しているため、一人当たりの子どもに十分な支援を提供できているか懸念がある。	・用希望者の多さに対して、適切な人員配置が追いついていない可能性がある。	・法的基準に基づいた適切な人員配置を行うために、人員の見直しや増員を検討する必要がある。
2	・保護者や地域交流への参加や企画などが少なく、保護者交流や地域交流を求める保護者からの意見がある。	・基幹センターへの交流会に参加する機会が少なかったり、地域への交流の機会が少なかったり、保護者交流会などの提案や企画が今後の課題になってきます。	・地域の基幹センターの交流会に参加する機会も増え、地域交流の企画や部会に参加することで交流の機会を作れるように考えています。保護者交流の機会や企画を今後、考えていけるように努めます。
3	・事業所が2階にあることや室内にも段差があるため、バリアフリー化が難しい。	・階段や段差には、危険がないように職員が必ず付き添い、言葉をかけながら上り降りしている。	・階段や段差には、危険がないように職員が必ず付き添い、言葉をかけながら上り降りしている。段差には、クッション、手すりなどをつけて危険がないように環境設定を行っている。これからも、危険がないように支援や工夫につとめてまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 キッズサポートみずほ

公表日 年月日 2025年5月20日

利用児童数 年月日 2025年5月20日

回収数 23

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	21	2			・のびのびと活動できています。	・広々としたスペースをうまく利用した支援や構造化の工夫を進めるとともに、日々のお子様の様子に合わせて見直していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	19	2		2		・資格者が既定の配置人数を確保しつつ、突然の病欠などでも対応できるように人員の拡充に努めています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19	2		2		・これからも、危険がないように継続していくとともに、お子様が落ち着いて過ごしたり、活動に集中できるよう、スペースをうまく利用した支援や工夫を努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	2		1	・心地よく過ごせていると思います。	・毎日清掃と消毒を行っています。
適切な 支援の 提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	19	3		1	・細かいルールや対応が指示する側で統一されておらず、子どもによって変わることが困惑することがある。	・スタッフ間でルールが曖昧な事項に関しては、その都度振り返りにて話し合い、決めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			4		・子どもの姿にあった具体的な支援内容を設定していきます。
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	19	1		3		・これからも継続していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	1		5	・いろいろ考えて支援して下さりながら支援をしてくださっているので有難いです。助かっています。成長を感じています。	・ガイドラインに沿いつつ、子どもの姿にあった具体的な支援内容を設定していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	2		1		・これからも継続していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	20	2		1	・たくさん工夫されています。	・これからも継続していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	14	3	1	5		・今後は、地域交流や活動をする機会を作っていくように努めます。
保護者 への 説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	23					・これからも継続していきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	2	1			・これからも継続していきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	12	5	3	3		・プログラムとしては行っていないですが、個別の相談に対応し、支援をしています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	19	3		2		・モニタリングの機会だけではなく、普段の利用の際にもお子様の成長の姿や課題に対する意見交換を細やかに行えるように徹底してまいります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	4	1			・これからも継続していきます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	3		1		・これからも継続していきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	5	5	6	・お祭りに参加できて良かったです。	・対面での実施に向けた取り組みを行い、保護者会開催の方法を模索できればと存じます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	3	1	2		・これからも継続していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	4		2		・これからも継続していきます。

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	4		3	・公園に行った際の写真が見れて嬉しいです。	・SNSを使い動画等の多様な発信方法をとっています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	2		3		・これからも継続していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	19	1		3		・定期的に保護者の方にもマニュアルについて周知するようにいたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	1		3		・毎月、非常災害を想定した避難訓練の実施や防災についての学習を行っています。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	18	2		3		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	16	3		4		
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	18	3		2	・先生たちのことが大好きで、自分の居場所だと思っています。	・これからも継続していきます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	18	3		2	・とても楽しみで、利用予定以外でも行きたいと言うことがあります。	・これからも継続していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	4		2	・満足です。 ・いつも親身になって支援してくださり本当に感謝しております。	・これからも継続していきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
キッズサポートみずほ		2025年 5月 20日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	7	1		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	3	・タイムスケジュールや時計等、見通しをもって行動できるよう視覚的支援をしている。	・階段で2階にあがるので、バリアフリー化が難しい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・支援や片付けなど場所がわかりやすいように掲示している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		・クールダウンできる部屋を準備、必要に応じて解放している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・スタッフミーティングや朝礼終礼にて風通しの良い環境を心がけている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	1		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	1		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	1		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8			

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7	1		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	8			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		・施設管理者もしくは児発管が参加。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	3		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	5		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	5		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	5		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	・地域のこどもとの交流や活動する機会が持てるよう検討中。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7	・夏祭りや演奏会等、保護者同士の交流の機会が持てるよう検討する。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	5		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	1		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		・スタッフ同士で情報を共有できるようにしている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・提供する前に、スタッフ同士や保護者と確認を行っている。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			